

令和6年度

一般社団法人 地域商社あきおおた



AKIOTAKARA

あきおおたから

ふれて、心に残るもの

事業計画

地域商社あきおおた 事業本部 作成

令和6年3月

## 令和6年度（一般社団法人）地域商社あきおおた事業計画について

### 1 要旨

令和9年度に予定する道の駅再整備後には、移転に伴う初期費用が必要となることが想定され、こういった事態に対応できるような収益力を確保することが、今後3年間をかけた最優先課題となる。

そこで、初年度となる令和6年度を収益事業の土台づくりの年度と位置づけ、町への誘客数を増やししながら体験や物販事業の強化・拡充を行う。

### 2 事業概要

来訪者の満足度向上と消費拡大ならびに取組の持続可能性を高めることを目的に、安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会の事務局として「あきおおた里山ガイド」の育成に注力する。

また温井ダムの龍姫湖でのウォーターアクティビティの受入拠点として、関連する事業者と共に令和5年度に立ち上げた任意団体「Lake Ryuki Water Complex」<sup>レイク リュウキ ウォーター コンプレックス</sup>を活用し、SUPやカヤック、ウェイクサーフィンなどの多様な利用客の誘客をはかる。

ツアーの造成においては、令和4年度に実施した観光庁補助「看板商品創出事業」の成果を活用し、令和5年度は独自事業として県内外の旅行会社と連携のうえツアーを38本造成し、15本催行した。

令和6年度はこれらの動きをさらに強化するとともに、地域DMOとして観光庁や環境省などの補助金も積極的に活用し、町内外の事業者や旅行会社等と連携をはかり、更なる誘客の充実と観光消費額の向上につとめる。

### 3 主要事業（概要）

#### （1） 森林セラピー・観光ガイド事業の体制強化【2,420千円】

##### ●セラピーガイド・観光ガイドの養成講座の実施（2,420千円）

令和5年度から引き続きガイド人材の育成に注力し、特に新規ガイドの募集・育成など、本町の自然を活かした受入体制を整備する。また継続性をもった収益体制を確保できるように、ヘルスツーリズム推進協議会との連携を密に、ガイド会の発展に寄与する。

#### （2） ウォーターアクティビティの受入れ体制強化【3,660千円】

##### ●SUP事業の拡充（3,660千円）

現状、安芸太田町田舎体験推進協議会にて実施する選択別体験のうち、ラフティングについては収入金額の80%以上が町外（庄原市）へ流出している。

そこで、令和6年度以降はラフティングに代わるメニューとして、SUPを中心としたウォーターアクティビティで町内に収入が留まるよう地域商社の備品整備と「Lake Ryuki Water Complex」による受入れ態勢の強化を実施する。

また、広島県の「わがまちスポーツ」補助金等を活用し、温井地域の周辺事業者との連携をさらに強化し、受入れ環境の整備ならびにプロモーションを強化する。

### (3) 道の駅事業の収益向上【989千円】

#### ●特産品販路拡大（640千円）

令和5年度は広島ワシントンホテルや広島市内の飲食店等（1店舗：1月あたり計50千円程度）へ卸しており、令和6年度は更なる町内特産品の販路拡大のため、県内外のホテルや飲食店等と連携し、町内特産品の卸売販売を積極的に行う。

#### ●出店事業の拡充（120千円）

町内事業者等と出店や配達要員におけるパートナー制度を導入し、町内外の出店において要員不足による出店機会を逸失することなく、道の駅の売上向上をはかる。

#### ●備品レンタル事業の開始（229千円）

事業者向けの備品としてのポータブル発電機や簡易テントなど、個人向けには既存の電動自転車だけでなくヨガマットやハンモックなどのレンタルを行い、レンタル事業の収益化をめざす。

### (4) 補助金の活用と事業収益の改善

#### ●観光庁・環境省等の補助事業活用

##### ➤【観光庁】 特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業

事業名：奥安芸の箱庭的凝縮美を堪能し尽くすサイクルツーリズム（申請済み）

事業規模：20,000千円（うち補助額15,000千円）

事業概要：夜間早朝・期間限定・対象限定の特別コンテンツ群を開発し、特にインバウンド富裕層を誘客する。

##### ➤【観光庁】 地域観光新発見事業

（\*現在、町内事業者を含む複数の案件について申請検討中）

##### ➤【環境省】 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業（申請済み）

事業名：環境・社会・経済課題の同時解決を目的とした地域プラットフォームづくり

事業規模：2,000千円（うち補助額2,000千円）

事業概要：地域住民、企業、地域商社、NPOなど、異なる立場や関心を持つ地域の様々なステークホルダーが定期的に参加できるプラットフォーム『地域の場づくり』を創出する。

#### 4 事業別計画（概要）

##### (1) 体験型観光事業

●森林セラピー、観光ガイド、SUP、カヤックおよびスノーシュー等の実施。

事業名	R 3 実績	R 4 実績	R 5 ※見込み	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
森林セラピー (個人・団体)	69 人	103 人	107 人	145 人	200 人	220 人
観光ガイド (企業・団体)	105 人	160 人	375 人	400 人	450 人	470 人
ウォーター アクティビティ	182 人	219 人	231 人	540 人	740 人	1,100 人
スノー アクティビティ	0 人	10 人	33 人	150 人	200 人	230 人
合 計	356 人	492 人	746 人	1,235 人	1,590 人	2,020 人

事業費：8,416 千円（令和5年度事業費：4,648 千円）

##### (2) 田舎体験事業（教育旅行受入）

●広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会による教育旅行の実施

事業名	R 3 実績	R 4 実績	R 5 ※見込み	R 6 (計画)
民泊	0 校 (0 人)	1 校 (18 人)	8 校 (255 人)	13 校 (480 人)
選択別体験	7 校 (649 人)	13 校 (1,124 人)	8 校 (657 人)	5 校 (460 人)
合 計	7 校 (649 人)	14 校 (1,142 人)	16 校 (912 人)	18 校 (940 人)

事業費：5,661 千円（令和5年度事業費：5,296 千円）

(3) その他

●道の駅の運営を通じた地元製品の販売と観光案内

事業名	R 3 実績	R 4 実績	R 5 (見込み)	R 6 (計画)
道の駅販売額	36,428 千円	46,885 千円	55,300 千円	58,000 千円
EC サイト	3,092 千円	3,415 千円	5,350 千円	3,500 千円
ふるさと納税 返礼品	7,746 千円	10,127 千円	8,500 千円	10,000 千円
産直市販売額	35,340 千円	40,490 千円	41,394 千円	42,000 千円
合 計	82,606 千円	100,917 千円	110,544 千円	113,500 千円

5 財政計画等の見込み

種 別	R 3 決算	R 4 決算	R 5 (決算見込み)	R 6 (計画)
総収益 (a)	167,281 千円	182,821 千円	158,000 千円	175,442 千円
総支出 (b)	156,977 千円	168,699 千円	148,500 千円	165,288 千円
総収支 (c = a - b)	10,304 千円	14,122 千円	9,500 千円	10,154 千円
町運営交付金 (d)	57,000 千円	52,000 千円	48,000 千円	45,000 千円
町補助金他 (e)	51,115 千円	46,303 千円	20,035 千円	17,116 千円
組織 体制 (4/1 時点)	正規 職員	6 名	6 名	6 名
	町から 出向・ 協力隊	3 名	4 名	4 名
	外部・ パート	3 名	4 名	5 名
	計	12 名	14 名	15 名